

質問事項	質問の要旨
<p>1 原発行政の根本的見直しを</p>	<p>女川原発1号機の廃炉が決定されました。また、2号機の適合性審査への東北電力の説明終了時期が1月より伸びるといわれています。この機会にじっくりとこれまでの原発推進行政を検討すべきと考えます。</p> <p>(1) 女川原発1号機の廃炉について、その工程や放射性廃棄物の処分等、町として課題をどうとらえているか、説明を求めます。</p> <p>(2) 原発は本当に必要でしょうか。東北電力管内の再生可能エネルギーの状況を示してください。それを踏まえ、検証すべきではありませんか。</p> <p>(3) 原発問題はエネルギーの問題というより、いのちと暮らしの問題です。故郷を喪失した福島県民の苦しみをどう受け止めていますか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>2 授業に集中できる教育環境を</p>	<p>基礎学力を身につける学校教育にあつて、授業内容、授業時間数、授業を受ける環境などが重視されなければならない、外部からの行事の持ち込みで、子どもたちの落ち着いた教育環境が乱されてはならないと考えます。</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>(1) 学校行事以外で、子どもたちが出演し、授業時間を繰り延べしたり、作文・絵画募集などに費やされて授業に支障が多少でもあったりする事例があれば、お知らせください。</p> <p>(2) 教職員の過重労働問題が、この問題と重なって重症化し、教材研究の時間が削られるようなことは起きていませんか。</p> <p>(3) 「授業で勝負する」気風を確立すべきではありませんか。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：教育長・町長)</p>
<p>3 漁業法改正案について</p>	<p>今臨時国会に漁業法改正案が提出され、沿岸漁民の不安が高まっています。</p> <p>(1) この法案が県漁協や漁協女川町支所にどのような説明がされ、議論がされてきたのでしょうか。</p> <p>(2) 漁業権を企業に開放する、海区調整委員の選出も知事の任命に変えるなど、「沿岸漁業の在り方を根本から変えるもの」と漁業者から批判が噴出しています。このことをどのように受け止めますか。</p>

質問者 高野 博

	質問の要旨
	<p>(3) 70年ぶりの大改革というなら、拙速を避け沿岸漁業の本当の振興策と一緒に検討する姿勢こそ望まれるのではないのでしょうか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>